



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール  
 コード番号 8005 URL <http://www.scroll.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 堀田 守  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部経営企画課長 (氏名) 鈴木 康晴 TEL 053-464-1114  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	48,026	1.4	2,013	—	2,278	—	2,035	—
27年3月期第3四半期	47,366	△6.9	△1,038	—	△873	—	△1,022	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,794百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △679百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	60.80	60.65
27年3月期第3四半期	△30.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	36,943	21,962	59.2
27年3月期	36,361	20,483	56.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 21,869百万円 27年3月期 20,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	0.7	1,200	—	1,500	—	1,300	—	38.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	34,320,650株	27年3月期	34,320,650株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	771,995株	27年3月期	912,615株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	33,472,303株	27年3月期3Q	33,280,497株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成28年1月29日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向のなかで緩やかな景気回復が期待されているものの、個人消費は物価上昇への懸念や消費税増税後の節約志向が依然として根強く、また中国経済の悪化や米国の政策金利上昇に伴う新興国の失速が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、宝飾・貴金属・化粧品などの高額品や高付加価値商品は海外需要などによる下支えがあったものの全般的に消費は伸び悩み、そのようななか円安による仕入価格の高騰や業態間競争の激化なども加わり、引き続き厳しさを増しています。

このような事業環境のなか、当社グループは、中期経営計画「SCROLL RENOVATION 2015」の最終事業年度にあたる当期において、「シニア事業」、「インターネット事業」、「化粧品事業」および「通販ソリューション事業」の4分野を成長戦略の中心に据え、事業の収益化に向けた各種施策を推進するとともに、事業基盤を一層強化するためのインフラ整備の完成と、次期中期経営計画に向けた強力な事業体制の構築に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高48,026百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。利益面におきましては、連結営業利益2,013百万円（前年同四半期は連結営業損失1,038百万円）、連結経常利益2,278百万円（前年同四半期は連結経常損失873百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,035百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,022百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益又は損失は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

#### ① 通販アパレル事業

通販アパレル事業におきましては、女性向け通販ブランド『Brillage（ブリアージュ）』において、シニア世代の幅広いニーズに合致する充実した品揃えと売り場づくりに注力いたしました。生協販売におきましては、組合員様の声を反映した企画商品の販売を強化したほか、シニア向けのお出かけ着の開発にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は19,075百万円（前年同四半期比3.4%減）となり、セグメント利益は302百万円（同148.6%増）となりました。

#### ② 通販インナー事業

通販インナー事業におきましては、着心地の良さと高い機能性を両立させた商品の販売に積極的に取り組んでまいりました。とりわけ、「あったかパジャマ」などこれまでに支持をいただいております季節商品の企画を強化いたしました。また引き続き、お客様の「ついで買い」を意識したプラスワン商品を展開するなど、購買の促進を意図した企画販売にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は5,657百万円（同1.6%増）となり、セグメント利益は224百万円（同35.1%増）となりました。

#### ③ 通販LF事業

通販LF事業におきましては、人気の北欧雑貨の新規ブランドの取扱い開始や気軽に購入いただけるインテリア商品の拡充など、自社通販サイトの集客販促を強化してまいりました。また一方で、会員カタログの効率的な展開にも努めてまいりました。生協販売におきましては、これまでに大きな支持をいただいております人気商品の継続販売を起点に、機能的かつかわいいをテーマとしたプライベート商品の開発および販売に積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は10,283百万円（同7.3%減）となり、セグメント利益は399百万円（前年同四半期はセグメント損失376百万円）となりました。

#### ④ 通販H&B事業

通販H&B事業におきましては、ナショナルブランド化粧品などを取り扱うECサイトにおいて、年末需要に対応した出店モール内の各種キャンペーンを活用し、引き続き効率的な販売に取り組んでまいりました。化粧品ビジネスにおきましては、オリジナル化粧品の国内顧客基盤の強化を目的とした各種メディアでの広告宣伝を拡大するとともに、海外需要への対応をより一層強化してまいりました。

以上の結果、売上高は7,384百万円（前年同四半期比27.1%増）となり、セグメント利益は1,079百万円（前年同四半期はセグメント損失992百万円）となりました。

⑤ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、主に物流代行サービスおよび後払い決済サービスの営業拡大に取り組んでまいりました。また、コスメティクス・サプリメント通販専用の物流センターをはじめとする付加価値の高いサービスの提案を引き続き推進してまいりました。さらに、大手流通企業のオムニチャネル戦略設計支援やEC企業向けの海外物流支援などの新たなサービスにもチャレンジしております。

以上の結果、売上高は5,626百万円（前年同四半期比9.3%増）となり、セグメント利益は438百万円（同25.4%増）となりました。

⑥ その他

その他事業におきましては、金融事業における事業終了に向けた業務に専念しております。

以上の結果、営業収益はございません。また、セグメント損失は3百万円（前年同四半期はセグメント利益13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は36,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ582百万円増加いたしました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債は14,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ896百万円減少いたしました。これは主に未払金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は21,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,478百万円増加し、自己資本比率は59.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年10月27日の「平成28年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年1月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引）

当社は、当社グループ従業員に対する当社グループの中長期的な企業価値向上へのインセンティブ付与、福利厚生の充実、及び株主としての資本参加による従業員の勤労意欲高揚を通じた当社グループの恒常的な発展を促すことを目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

平成25年7月から約3年にわたり「スクロール従業員持株会」（以下「本持株会」といいます。）が取得する見込みの当社株式を、「スクロール従業員持株会専用信託口」（以下「信託口」といいます。）が予め一括して取得し、本持株会の株式取得に際して当社株式を売却していきます。

当該自己株式の取得・処分に関する会計処理については、当社と信託口は一体であるとする会計処理を行っており、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債、収益及び費用については連結財務諸表に含めて計上しております。

2. 信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）第20項を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

3. 信託が保有する自社の株式に関する事項

- ① 信託における帳簿価額  
前連結会計年度81百万円、当第3四半期連結会計期間44百万円
- ② 当該自社の株式を株主資本において自己株式として計上しているか否か  
信託が保有する自社の株式は株主資本において自己株式として計上しております。
- ③ 期末株式数及び期中平均株式数  
期末株式数 前第3四半期連結会計期間344千株、当第3四半期連結会計期間174千株  
期中平均株式数 前第3四半期連結累計期間443千株、当第3四半期連結累計期間250千株
- ④ ③の株式数を1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めているか否か  
期末株式数及び期中平均株式数は、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,105	956
売掛金	10,964	12,102
たな卸資産	6,690	6,711
その他	2,649	2,828
貸倒引当金	△87	△159
流動資産合計	21,323	22,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,234	5,004
土地	4,576	4,610
その他（純額）	1,578	1,413
有形固定資産合計	11,390	11,028
無形固定資産	1,298	1,307
投資その他の資産		
その他	2,832	2,242
貸倒引当金	△483	△74
投資その他の資産合計	2,349	2,167
固定資産合計	15,037	14,504
資産合計	36,361	36,943
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,547	2,352
短期借入金	2,100	136
未払金	8,414	7,457
未払法人税等	66	242
引当金	272	159
その他	837	1,315
流動負債合計	14,238	11,664
固定負債		
長期借入金	242	2,100
引当金	367	159
退職給付に係る負債	645	705
その他	384	351
固定負債合計	1,639	3,316
負債合計	15,877	14,981

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,812	5,812
資本剰余金	7,123	7,065
利益剰余金	7,012	8,713
自己株式	△517	△437
株主資本合計	19,431	21,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	787	721
繰延ヘッジ損益	183	△22
為替換算調整勘定	17	17
その他の包括利益累計額合計	989	715
新株予約権	3	7
非支配株主持分	59	85
純資産合計	20,483	21,962
負債純資産合計	36,361	36,943

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）
売上高	47,366	48,026
売上原価	28,991	29,013
売上総利益	18,375	19,013
販売費及び一般管理費	19,414	17,000
営業利益又は営業損失（△）	△1,038	2,013
営業外収益		
受取利息	14	10
受取配当金	33	35
業務受託手数料	104	116
受取和解金	—	72
その他	85	67
営業外収益合計	237	302
営業外費用		
支払利息	13	11
その他	59	25
営業外費用合計	72	37
経常利益又は経常損失（△）	△873	2,278
特別利益		
固定資産売却益	10	0
投資有価証券売却益	—	73
特別利益合計	10	74
特別損失		
固定資産除却損	22	12
その他	2	—
特別損失合計	25	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△888	2,340
法人税、住民税及び事業税	71	269
法人税等調整額	50	3
法人税等合計	121	272
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,010	2,067
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,022	2,035

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,010	2,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	△66
繰延ヘッジ損益	207	△206
為替換算調整勘定	0	△0
その他の包括利益合計	330	△273
四半期包括利益	△679	1,794
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△691	1,761
非支配株主に係る四半期包括利益	12	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,740	5,566	11,093	5,811	5,145	47,356	9	47,366	—	47,366
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	16	856	873	0	874	△874	—
計	19,740	5,566	11,093	5,827	6,002	48,230	9	48,240	△874	47,366
セグメント利益 又は損失 (△)	121	165	△376	△992	349	△731	13	△718	△155	△873

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、セグメント間取引消去△30百万円及び投資不動産の内部取引利益△124百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販 アパレル 事業	通販 インナー 事業	通販 L F 事業	通販 H & B 事業	ソリュー ション 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	19,075	5,657	10,283	7,384	5,626	48,026	—	48,026	—	48,026
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	0	14	675	689	—	689	△689	—
計	19,075	5,657	10,283	7,399	6,301	48,716	—	48,716	△689	48,026
セグメント利益 又は損失 (△)	302	224	399	1,079	438	2,443	△3	2,440	△162	2,278

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、セグメント間取引消去△34百万円及び投資不動産の内部取引利益△127百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。